

React.js & Next.js 超入門【正誤表】

●90 ページ 本文 2 行目

【誤】 `flag` で切りかえることができる

【正】 `flag` で切り替えることができる

●106 ページ 本文 5 行目

【誤】 JSX では必ず `<○○ />` と各必要があります。

【正】 JSX では必ず `<○○ />` と書く必要があります。

●110 ページ 図 3-1 キャプション

【誤】 簡単にページに組み込みに表示する

【正】 簡単にページに組み込み表示する

●129 ページ コラム 6 行目

【誤】 サクセス

【正】 アクセス

●144 ページ 12 行目

【誤】 注意しなければいけないのは、値を取り出すときです。

【正】 注意しなければいけないのは、値を変更するときです。

●147 ページ ステートの更新

【誤】 `this.setState(...値を用意...);`

【正】 `this.setState({...値を用意...});`

●203 ページ ソースコード 10 行目

【誤】 `//`

【正】 `// ボタン表示のコンポーネント`

●207 ページ 下から 10 行目

【誤】 そして `renders` では、

【正】 そして `render` では、

●227 ページ リスト 4-8 コード 11 行目あたり (message のスタイルについて)

【追加】 `message` のスタイルが掲載されていませんでした。これはスタイルの設定ですので、`AddForm` クラスに `message` という名前でスタイル情報を用意して下さい。例えば以下のような形でいいでしょう。

```
message = {  
  fontSize: "16pt",  
  color: "#006",  
  margin: "5px 10px"  
}
```

●232 ページ 本文 下から 3 行目

【誤】 `fineMemo` アクションクリエイター

【正】 `findMemo` アクションクリエイター

●238 ページ コラム

【訂正】 冒頭の 1 行がタイトルで隠されてしまっています。以下の文 (赤字) が 1 行目に入ります。

Redux Persist には、データを保管し永続化するための仕組みとしてパーシストレ
デューサーやパーシスターといったものが用意されていました。

●248 ページ 本文 2 行目

【誤】 しょうか。

【正】 しょうか。

●262 ページ 本文 最終行

【誤】 のような方式は

【正】 このような方式は

●278 ページ 5 行目

【誤】 `<link>` というタグ

【正】 `<Link>` というタグ

●302 ページ 「RESET」 文末

【誤】 `count` には `z` 路を指定

【正】 `count` には `0` を指定

●306 ページ 「コネクトする」 本文下から 2 行目

【誤】 `Coiunter` コンポーネントが

【正】 `Counter` コンポーネントが

●313 ページ 下から 1 行目

【誤】 1 を書けていますが

【正】 1 を **か** けていますが

●318 ページ 下から 2 行目

【誤】 this.state.value

【正】 this.state.**input**

●342 ページ 2 行目 『「ウェブ設定」というボタンがあります。』について

【補足】 現在、Web サイトからこのボタンが削除されています。「Project Overview」の「アプリを追加」ボタンをクリックし、現れた Web アイコン(</>マーク)をクリックして Web アプリ名を登録して下さい。以後、「Project Overview」右の歯車アイコンから「プロジェクトの設定」を選ぶと「マイアプリ」に表示されます。

●348 ページ 本文 下から 2 行目

【誤】 Sampledata.js

【正】 Sample**D**ata.js

《補足情報》

■1 章 37 ページ、3 章 131 ページ以降

※create-react-app で生成されるコードについて

本書では、create-react-app を使ってプロジェクトを作成し利用していますが、これによりデフォルトで生成されるコードが本書執筆当初と現在で変わっています。このため、作成されたプロジェクトの App.js の内容がリスト 3-8 とは違うものになっています。

これは、デフォルトで生成されているコードが異なるだけですので、そのまま App.js の内容をリスト 3-8 に書き換えて利用することもできます。あるいは、create-react-app でプロジェクトを作成する際、以下のような形で react-scripts というパッケージを旧バージョンに指定し実行することで、本書と同じ内容のプロジェクトを作成することも可能です。

`npx create-react-app プロジェクト名 --scripts-version react-scripts@^2`

■Firebase の設定情報について

本書では Firebase を利用する際、「Authentication」画面にある「ウェブ設定」ボタンをクリックして設定情報をコピーするように説明しています。が、現在の Firebase サイトではレイアウトが変更されており、「ウェブ設定」ボタンがありません。Firebase プロジェクトの設定情報は、以下の手順で取得して下さい。

1. 左側のサイドバーから「Project Overview」の右側にある歯車アイコンをクリックします。
2. メニューがポップアップ表示されるので「プロジェクトの設定」を選んで下さい。
3. 現れた画面から「ウェブアプリ」という項目を探して下さい。そこに、作成した Web アプリ名が項目として表示されますので、ここから使いたいアプリ名を選択します(1つだけの場合は自動で選択されています)。
4. 選択した Web アプリの情報が表示されます。ここにある「Firebase SDK snippet」のスク립トが、プロジェクトの設定情報です。「CDN」と「構成」というラジオボタンがありますが、本書のサンプルはすべて「CDN」を選んで表示されるものを使って下さい。

<本書紹介サイト>

<https://www.shuwasystem.co.jp/book/9784798056920.html>

<秀和システム>

<http://www.shuwasystem.co.jp/>